

## 第8回早石修記念賞

公益財団法人 小野医学研究財団（理事長：川瀬 和一十）は、2024年11月27日（水）に開催されました理事会において、島野 仁博士に「第8回早石修記念賞」を贈呈することを決定いたしました。

受賞者には、正賞（楯）、副賞500万円が贈られます。

贈呈式および記念講演会は、2025年6月14日（土）午後5時00分より、千里ライフサイエンスセンター（大阪）にて執り行われる予定です。

《受賞者》

島野 仁（しまの ひとし）博士

筑波大学 医学医療系

内分泌代謝・糖尿病内科 教授



《受賞対象となった研究業績》

**「脂質合成転写調節と臓器脂質の量、質、感知の制御に基づいたエネルギー代謝と脂肪毒性機序の研究」**

臓器脂質の量的制御は、脂肪毒性病態の予防、治療に重要である。受賞者は、脂質合成転写因子 SREBP-1c の生体機能を詳細に解析、脂肪酸や中性脂肪の合成を量的に支配し、様々なメタボ病態に関与することや多価不飽和脂肪酸による脂肪合成抑制の分子機序を明らかにした。一方、SREBP-1 の新規標的遺伝子として Elovl6 を発見し、炭素鎖 C16 から C18 という特定の脂肪酸鎖長の伸長を担うことを明らかにした。この遺伝子欠損マウスは、肥満や脂肪肝を誘導して臓器脂質が蓄積していても、インスリン抵抗性や糖尿病、脂肪肝、動脈硬化を免れることから、肥満関連病態の治療に肥満の解消だけでなく蓄積した臓器脂質の質的変化が重要であるという新しいパラダイムを確立した。加えて、心不全、肺線維症、喘息、がん、白血病、免疫炎症性疾患、神経変性疾患、脳高次機能など広範な臓器病態にわたって、Elovl6 による制御の重要性が示された。臓器脂肪酸鎖長制御が、オルガネラ膜脂質の組成、形態、機能の変容や分子相互作用を介して、ひろく生命現象や疾患病態に関与している新しい理念が示された。さらに Elovl6 核酸治療薬の開発に取り組むなど、リピッドメディシンの創生をめざしている。

これらの業績は「脂質研究に於ける独創的な研究による新しい分野の確立」を対象とする早石修記念賞の受賞者としてふさわしいと考えられる。

《略歴》

昭和 59 年	東京大学医学部卒業
昭和 61 年	東京大学医学部附属病院第三内科入局
平成 4 年	日本学術振興会特別研究員
平成 5 年	東京大学医学部附属病院第三内科助手
同 5 年	米国テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンター 分子遺伝学部 留学
平成 10 年	東京大学医学部糖尿病代謝内科 医薬品機構特別研究員
平成 12 年	筑波大学臨床医学系内科講師
平成 14～19 年	筑波大学先端学際領域研究(タラ)センタープロジェクトリーダー
平成 16～24 年	筑波大学附属病院病態栄養部長
平成 17 年	筑波大学大学院人間総合科学研究科助教授
平成 18 年	筑波大学附属病院教授
平成 20 年	筑波大学大学院人間総合科学研究科教授
平成 22 年	筑波大学院人間総合科学研究科 内分泌代謝・糖尿病内科教授
平成 23 年～至現在	筑波大学医学医療系内分泌代謝・糖尿病内科教授 (組織改名)
平成 24～25 年	筑波大学学長補佐
平成 22～25 年	文部科学省科学官
平成 27 年～令和 2 年	AMED-CREST 研究開発代表者